

II 教育研究の内容・方法と条件整備

1 開設授業科目における専兼比率（2006年度）

（表3）

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
文学部	日本語日本文学科	専任担当科目数（A）	8.0	17.7	25.7
		兼任担当科目数（B）	0.0	52.3	52.3
		専兼比率 (A / (A + B) * 100)	100.0	25.3	32.9
	英語英米文学科	専任担当科目数（A）	8.0	32.3	40.3
		兼任担当科目数（B）	0.0	18.7	18.7
		専兼比率 (A / (A + B) * 100)	100.0	63.3	68.3
	社会学科	専任担当科目数（A）	7.6	22.5	30.1
		兼任担当科目数（B）	2.4	14.5	16.9
		専兼比率 (A / (A + B) * 100)	76.0	60.8	64.0
	人間科学科	専任担当科目数（A）	3.9	34.0	37.9
		兼任担当科目数（B）	0.1	23.0	23.1
		専兼比率 (A / (A + B) * 100)	97.5	59.6	62.1
	歴史文化学科	専任担当科目数（A）	5.0	20.5	27.1
		兼任担当科目数（B）	0.0	23.5	25.9
		専兼比率 (A / (A + B) * 100)	100.0	46.6	51.1
文学部共通	専任担当科目数（A）	0.0	0.0	1.7	
	兼任担当科目数（B）	0.0	0.0	7.3	
	専兼比率 (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	18.9	

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
理工学部	物理学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	8.6	28.9	38.0
			兼任担当科目数 (B)	0.4	13.1	15.0
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	95.6	68.8	71.7
	生物学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	29.7	30.7
			兼任担当科目数 (B)	0.0	8.3	8.3
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	0.0	78.2	78.7
	機能分子化学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	11.5	43.5	56.0
			兼任担当科目数 (B)	0.5	5.5	6.0
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	95.8	88.8	90.3
	情報システム工学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	4.2	51.5	55.7
			兼任担当科目数 (B)	5.8	23.5	29.3
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	42.0	68.7	65.5
	理工学部共通	専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	1.2
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.8
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	60.0
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	2.3	39.1	41.4
			兼任担当科目数 (B)	3.7	21.9	27.6
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	38.3	64.1	60.0
法学部	法学科 / 経営法学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	1.0	64.5	69.7
			兼任担当科目数 (B)	0.0	28.5	35.3
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	100.0	69.4	66.4

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経営学部	経営学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	28.6	37.6
			兼任担当科目数 (B)	0.0	13.4	25.4
			専兼比率 (A / (A + B) *100)	0.0	68.1	59.7
経済学部 経営学部	(E B A総合コース)	専門教育	専任担当科目数 (A)	2.0	31.1	36.6
			兼任担当科目数 (B)	2.0	10.9	13.4
			専兼比率 (A / (A + B) *100)	50.0	74.0	73.2
大学全体	国際言語文化センター	外国語	専任担当科目数 (A)	0.9	0.0	14.1
			兼任担当科目数 (B)	10.1	0.0	38.9
			専兼比率 (A / (A + B) *100)	8.2	0.0	26.6
		教養教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	5.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 (A / (A + B) *100)	0.0	0.0	100.0
	広域副専攻センター	教養教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	62.5
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	56.5
			専兼比率 (A / (A + B) *100)	0.0	0.0	52.5
	スポーツ・健康科学 教育研究センター	保健体育	専任担当科目数 (A)	0.6	0.0	12.6
			兼任担当科目数 (B)	0.4	0.0	9.4
			専兼比率 (A / (A + B) *100)	60.0	0.0	57.3

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
大学全体	教職教育センター	教職	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	15.4
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	11.6
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	57.0
		図書館学	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	8.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	6.0
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	57.1
	情報教育研究センター	情報教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	1.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	1.0
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	50.0
	国際交流センター		専任担当科目数 (A)	—	—	—
			兼任担当科目数 (B)	—	—	—
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	—	—	—
	先端生命工学研究所		専任担当科目数 (A)	—	—	—
			兼任担当科目数 (B)	—	—	—
			専兼比率 (A / (A + B) * 100)	—	—	—

- [注] 1 ここでの「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めること。
- 2 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付すこと。その場合であっても、おおそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入すること。
- 3 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表すること。
- 4 「全開設授業科目」は、「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではないので注意すること。「選択科目」、「自由科目」を記入する必要は無い。

- 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りである。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となる。
 - ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となる。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となる）。